

農畜産物の生産履歴 記帳用カレンダー

**作物別栽培歴
防除基準に従って、
適正な農薬使用に
つとめます！**

J A 足利 足利市農業協同組合

令和7年(2025)				1月				令和8年(2026)			
		元日	水	1	木	元日					
		先勝				大安					
			木	2	金						
		友引				赤口					
			金	3	土						
		先負				先勝					
			土	4	日						
		仏滅				友引					
			日	5	月						
		大安				先負					
			月	6	火						
		赤口				仏滅					
			火	7	水						
		先勝				大安					
			水	8	木						
		友引				赤口					
			木	9	金						
		先負				先勝					
			金	10	土						
		仏滅				友引					
			土	11	日						
		大安				先負					
			日	12	月	成人の日					
		赤口				仏滅					
		成人の日	月	13	火						
		先勝				大安					
			火	14	水						
		友引				赤口					
			水	15	木						
		先負				先勝					
			木	16	金						
		仏滅				友引					
			金	17	土						
		大安				先負					
			土	18	日						
		赤口				仏滅					
			日	19	月						
		先勝				赤口					
			月	20	火						
		友引				先勝					
			火	21	水						
		先負				友引					
			水	22	木						
		仏滅				先負					
			木	23	金						
		大安				仏滅					
			金	24	土						
		赤口				大安					
			土	25	日						
		先勝				赤口					
			日	26	月						
		友引				先勝					
			月	27	火						
		先負				友引					
			火	28	水						
		仏滅				先負					
			水	29	木						
		先勝				仏滅					
			木	30	金						
		友引				大安					
			金	31	土						
		先負				赤口					



営農計画

- 水田農業の確立を図るため、麦・大豆・飼料作物・園芸作物とバランスの取れた輪作体系を考えます。
- 地域・経営に合わせた園芸作物を導入しましょう。
- 経営日誌を記帳し、我が家の経営改善を図りましょう。
- 作物メモを活用し、記録を取り安全な農作物生産に心がけます。

園芸

園芸戦略品目の推進

- 生産量・販売額ともに日本一を誇るいちごをはじめ、野菜（トマト・ニラ・ナス・キュウリ・タマネギ・アスパラガス・人参・大根・ミニトマト・ミディトマト・ニガウリ）や花き（切り花・鉢物等）を生産拡大しましょう。
- 先端技術の活用や施設化を推進し、周年供給、高品質、低コスト生産体制の整備を図るなど高度な園芸産地を育成します。

畜産全般

- 飼料給与メニューを種類ごとに記録して下さい。
- 飼料、薬剤の購入伝票を保管しましょう。
- 自給飼料の切り替え時期を記録して下さい。
- 投薬（抗生物質、ビタミン、ホルモン剤、飼料添加物、その他の薬剤）も必ず記録して下さい。
- 家畜の移動報告（出生、死亡、導入、出荷）と記録を忘れずに行いましょう。
- 種付け記録（使用精液、種付け月日等）をつけて下さい。
- 牛舎敷地内への立ち入り者を記録して下さい。
- 家畜排泄物の適正管理と堆肥の利用促進に努めて下さい。

米

稲の品種別特性

- とちぎの星
とちぎの星は、縹葉枯病抵抗性があり、大粒で収量性が高い。高温登熟に優れ、外観品質が安定して良い。倒伏を避けるため、多肥栽培は行わない。
- コシヒカリ
コシヒカリは良食味品種で品質も比較的安定しているが、年次により倒伏の増大や乳白米、胴割米の多発等による品質の低下が問題となっている。
- あさひの夢
あさひの夢は、縹葉枯病や倒伏に強く、千粒重も大きく収量性は高い。品質・食味の低下を防ぐため、施肥を多くすぎないように注意する。
- にじのきらめき
にじのきらめきは、高温でもよく実り、外観品質が良く、コシヒカリと同等の良食味。縹葉枯病抵抗性があり、いもち病にも比較的強い。多収性品種であり、施肥量も多く必要。
- 夢あおば
夢あおばは、縹葉枯病抵抗性があり、耐倒伏性が極強の飼料用米専用品種。粒が大きいので、1箱あたりの播種量が多く必要。

冬春トマト

- 草勢安定と玉伸び…1月中旬は低段の玉伸びと上段花芽育成が重なるため、生育が停滞しだす時期です。夜温11℃の確保と少量灌水を開始することで、低段の黄変果や中段の玉伸び、上段果質が改善されます。

春人参

- 播種期が例年より低温や乾燥の年は、トンネル中央部が発芽不良になり易く、灌水したり、古ビニールで被覆して発芽が揃うまで乾燥させない。

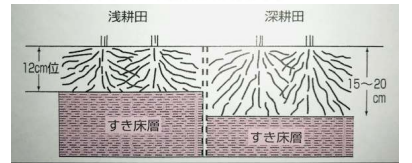
令和7年(2025)			2月			令和8年(2026)		
		仏滅	土	1	日	先勝		
		大安	日	2	月	友引		
		赤口	月	3	火	先負		
		先勝	火	4	水	仏滅		
		友引	水	5	木	大安		
		先負	木	6	金	赤口		
		仏滅	金	7	土	先勝		
		大安	土	8	日	友引		
		赤口	日	9	月	先負		
		先勝	月	10	火	仏滅		
	建国記念の日	友引	火	11	水	建国記念の日		
		先負	水	12	木	赤口		
		仏滅	木	13	金	先勝		
		大安	金	14	土	友引		
		赤口	土	15	日	先負		
		先勝	日	16	月	仏滅		
		友引	月	17	火	先勝		
		先負	火	18	水	友引		
		仏滅	水	19	木	先負		
		大安	木	20	金	仏滅		
		赤口	金	21	土	大安		
		先勝	土	22	日	赤口		
	天皇誕生日	友引	日	23	月	天皇誕生日		
	振替休日	先負	月	24	火	友引		
		仏滅	火	25	水	先負		
		大安	水	26	木	仏滅		
		赤口	木	27	金	大安		
		友引	金	28	土	赤口		



水 稲

- 粒張り・食味の良い米づくりのポイント
1. 総粒数を抑え、登熟向上を図る「じっくり型稲づくり」
 2. 玄米の成分分析に基づいた施肥設計
 3. 深耕や土づくり肥料堆肥の施用など登熟向上のための土づくり
 4. 作期分散
 5. 間断灌水、出穂後30日以降の落水など品質の向上を図る水管理
 6. 収穫は、帯緑率10%から始める適正刈取

- 土壌改良資材(土づくり肥料)の施用をしましょう。土壌分析を行い、不足しているリン酸分や苦土、石灰、ケイ酸、鉄分等を補給します。
- 良質な堆肥0.5~1トン/10aを施用するか、稲わらをすき込みます。ただし、未熟堆肥の多量施用は、高温時のガス害による根腐れや窒素の効きすぎによる倒伏や食味低下を招きやすいため注意が必要です。



- 浅耕田は踏み固められ圧盤層(耕盤層)が形成される。根は耕盤層を貫通出来ないで、深耕(目標15cm以上)により根張りをよくする。
- 基肥が多いと初期過繁茂になり、追肥出来ずに秋落ち稲となり、下葉枯れが生じて、収量が低くても倒伏し、食味が低下します。

麦

- 適期は種・除草・麦踏みの実施・排水対策・病害虫防除対策により、売れる麦づくりにつとめましょう。
- 排水溝の手直しをしましょう。
 - 麦踏みは、茎立ちする前までに2~3回、土が乾いているときに行う。

いちご

1. 温度管理
高温管理では果実が軟らかくなりますので、日中の温度は25℃を目安に換気を十分に行い、温度と湿度の低下を図ります。
2. 灌水管理
ハウス内湿度の上昇を防ぐため、草勢、土壌条件、灌水後の天候などを考慮しながら、少量多回数の灌水とします。
3. 適期収穫と適正な収穫間隔の維持
高温期は着色が早いので、収穫間隔は1~3日以内と短くし、カラーチャートの熟度表示に基づいた適期収穫を励行します。また、コンテナ出荷に取り組み作業の軽減を図りましょう。
4. 予冷処理の徹底
収穫後は速やかに予冷库へ入庫し、鮮度の保持に努めます。出荷規格を厳守するとともに、選果選別を徹底して過熟果の混入を防ぎましょう。

アスパラガス

- (2年目以降の管理)
- 灌水…保温前に3日位掛けてたっぷり灌水する。
 - 保温…気温の上がる日に保温開始、トンネル利用で凍霜害を防止。穂先開き予防や収量増のため湿度を高める。
 - 収穫…萌芽してきたら収穫開始する。

令和7年(2025)			3月			令和8年(2026)		
		先負	土	1	日	先勝		
		仏滅	日	2	月	友引		
		大安	月	3	火			
		赤口	火	4	水	仏滅		
		先勝	水	5	木	大安		
		友引	木	6	金	赤口		
		先負	金	7	土	先勝		
		仏滅	土	8	日	友引		
		大安	日	9	月	先負		
		赤口	月	10	火	仏滅		
		先勝	火	11	水	大安		
		友引	水	12	木	赤口		
		先負	木	13	金	先勝		
		仏滅	金	14	土	友引		
		大安	土	15	日	先負		
		赤口	日	16	月	仏滅		
		先勝	月	17	火	大安		
		友引	火	18	水	赤口		
		先負	水	19	木	友引		
	秋分の日	仏滅	木	20	金	先負	秋分の日	
	大安		金	21	土	仏滅		
	赤口		土	22	日	大安		
	先勝		日	23	月	赤口		
	友引		月	24	火	先勝		
	先負		火	25	水	友引		
	仏滅		水	26	木	先負		
	大安		木	27	金	仏滅		
	赤口		金	28	土	大安		
	先負		土	29	日	赤口		
	仏滅		日	30	月	先勝		
	大安		月	31	火	友引		



水 稲

- 育苗時には、健全な種子の使用、種子消毒の徹底・適切な育苗管理に注意して作業を行いましょう。
- 種子は更新しましょう。
- 10a当り3.0～3.5kg準備します。(乾燥粳)

①浸種期間は消毒種子を120～130℃
未消毒種子は100～120℃
(平均水温15℃で8～9日程度、または20℃で6～7日程度) 消毒済種子は未消毒種子より2～3日長く浸種する。
②水の交換は2～3日ごとに行い、新しい水と取り替える
③催芽は、ハト胸程度に均一に行う。

麦

- ◆茎立ちする前までに2～3回踏みを行いましょう。
- ◆ビール麦の葉色が落ちていても絶対に追肥はしないようにしましょう。
湿害対策の徹底
- ◆地表水を早期に排出するため、圃場のまわりに必ず排水溝を設けましょう。
- ◆排水性が悪い場合には、圃場内にも5～10mの間隔で排水溝を設け圃場外までつなげましょう。

春 大 根

- 低温で花芽分化が誘起され、高温、長日で抽苔が促進されるので、生育初期は温度確保に努め花芽分化を抑制する。生育後半は換気を大きくして根の肥大を図るとともに抽苔を抑制する。換気はすそ換気で徐々に慣らしていき3月中下旬に完全にトンネルを除去する。
- 間引きは本葉2～3枚期と5～6枚期に行い1本立ちにするのが基本であるが、作業性から4～5枚期に1回が多い。

ニ ラ

1. 播種
- 苗床施肥…本圃10a当たり苗床2a、堆肥300kg/a、pH調整に苦土炭カル20～30kg/a、化成で20kg/a。
 - 播種…ハウスで3月上旬、露地で3月下旬。種子は10a当り4～6dL。十分灌水と30℃以上高温に注意。
2. 収穫物の品質向上
- 収穫株の葉先焼け予防…3日以降は収穫後の朝換気を強めてゆっくり生育、灌水も生育中盤に追加灌水。肥切れやハウス内へ乾いた風の吹き込みに注意する。

冬春トマト

- 灰色かび病予防…曇天が2日以上続く時は、日中は15℃以上に暖房。夜温は従長予防に10℃に管理する。好天時は気温が急上昇し易く、果実結露から花ビラが腐れる。9時以降換気を強め、日昼22～23℃で管理する。
- 玉伸び促進…3月は陽射の伸びから着色が進むため、昼夜温を抑え、日没時の気温低下で果実転流を促す。3月は果実の肥大スピードも徐々に早くなり、草勢が停滞し易い。遮光も利用するが、株元だけでなく、通路灌水も行い、根全体で吸水させ、萎れ防止、草勢回復を図る。

いちご

- いちごの品質向上対策《みんなで守る5か条》
- と 特性活かして食味重視の商品づくり
ち チャート厳守し適期収穫、熟度の統一
お おはよう収穫予冷库へ
と ともに守ろう出荷の規格
め めざそう品質管理の徹底と出荷期の延長
1. 遮光による昇温防止
4月上旬からは、遮光資材を利用し、ハウス内気温と果実温度の上昇を抑えます。
2. 早朝収穫の励行
収穫時の果実温度が高いと予冷後も果実は軟らかく傷みやすくなるので、暖候期(3月～)の収穫は果実温度の低い早朝(9時までの収穫)に行います。

たまねぎ

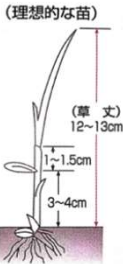
- 3月中旬、4月上旬頃にべと病防除。

令和7年(2025)			4月			令和8年(2026)		
		赤口	火	1	水	先負		
		先勝	水	2	木	仏滅		
		友引	木	3	金	大安		
		先負	金	4	土	赤口		
		仏滅	土	5	日	先勝		
		大安	日	6	月	友引		
		赤口	月	7	火	先負		
		先勝	火	8	水	仏滅		
		友引	水	9	木	大安		
		先負	木	10	金	赤口		
		仏滅	金	11	土	先勝		
		大安	土	12	日	友引		
		赤口	日	13	月	先負		
		先勝	月	14	火	仏滅		
		友引	火	15	水	大安		
		先負	水	16	木	赤口		
		仏滅	木	17	金	先負		
		大安	金	18	土	仏滅		
		赤口	土	19	日	大安		
		先勝	日	20	月	赤口		
		友引	月	21	火	先勝		
		先負	火	22	水	友引		
		仏滅	水	23	木	先負		
		大安	木	24	金	仏滅		
		赤口	金	25	土	大安		
		先勝	土	26	日	赤口		
		友引	日	27	月	先勝		
		仏滅	月	28	火	友引		
	昭和の日	大友	火	29	水	昭和の日		
		赤口	水	30	木	仏滅		



水 稲

- 播種量は、健苗をつくるために薄まきしましょう。(余った種は使わないように)箱当たり催芽粃で130～150g以下とします。
- 気象障害に強い稲づくりを行うため、生育量を抑え、適正な総収数にコントロールして登熟の向上を図る「じっくり型稲づくり」を徹底しましょう。
- 除草剤の効果を上げ、適正な減水深を確保するために代かきは丁寧に行いましょう。



《とちぎの星》
「とちぎの星」は大粒で食味が良く、高温登熟に優れ、縹葉枯病に抵抗性を持つ、温暖な足利での栽培に適した品種です。「あさひの夢」と比較すると、穂数の確保がやや難しく、耐倒伏性がやや弱い性質があります。栽植密度を坪あたり60～70株に設定し、分げつ期間を確保するため6月中に移植する、多肥栽培は控えることで対策が可能です。

麦わらすき込みの効果

- 土壌の物理性の向上により、排水性、保肥性などが改善されます。すき込みにあたり1～3年目は目安として10aあたり窒素成分で1Kg増肥しましょう。4年目からは麦わら由来の窒素成分が発現するため増肥の必要はなくなります。特に加里、窒素成分の補給が期待できます。

ガスわきに対する対策

- すき込み1年目は土中に有益菌が少ないため、ガスわきしやすくなります。しかし、すき込みを継続すると、土壌条件が変化しガスわきしにくい場になってきます。
- 荒代から植代までの期間を空けるとガスが発生しにくくなります。
- 生育不良が見られた場合は水を落とし、2～3日田面を出し干します。ガスを抜くと同時に根への酸素の供給を行います。また、早めに間断灌水(移植後20～25日から)を始めようしましょう。

《新規需要米》
主食用米と同様の栽培管理を行いましょう。病害虫防除を適切に行わないと、稲こうじ病や縹葉枯病の伝染源になる場合があります。

麦

- 病害虫防除
赤かび病の麦は売れません。また栽培履歴は明確にしておきましょう。
- ◆ 出穂期から穂揃期に赤かび病対策のため薬剤の散布。
 - ◆ 麦に使用できる農薬以外は絶対に使用しないこと。対象作物に注意しましょう(小麦のみ、大麦のみの登録の場合があります)。
 - ◆ 栽培履歴に使用農薬名等を記入して栽培履歴をはっきりさせましょう。

春 人 参

- トンネルの除去…平均気温が15℃くらいの4月中旬頃に行うが、除去に関しては急激な温度変化を避ける為、少しずつ環境に慣らしながら行う。
- 病虫害予防…4月に降雨が多いとトンネル除去期に害虫被害を受け易いため防除を実施する。数年に一度、ニンジンハネオレバエの幼虫による食害が多い年があるので注意する。豪雨に備え、畝間を深く溝切りや圃場周りの排水路を確保する。

アスパラガス

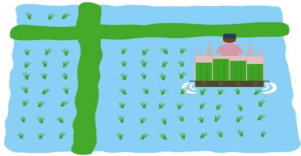
- (2年目以降の管理)
- 立茎…春芽収穫40～50日で若芽が細くなる前に、太さ10mmの親茎を離して畝1m間に10本程度立てる。立茎中は茎枯病予防を1週間毎に集中実施。
 - 追肥…立茎時に有機質肥料をN成分10Kg/10a実施。

令和7年(2025)			5月			令和8年(2026)		
		先勝	木	1	金	大安		
		友引	金	2	土	赤口		
	憲法記念日	先負	土	3	日	憲法記念日		
	みどりの日	仏滅	日	4	月	みどりの日		
	こどもの日	大安	月	5	火	こどもの日		
	振替休日	赤口	火	6	水	振替休日		
		先勝	水	7	木	大安		
		友引	木	8	金	赤口		
		先負	金	9	土	先勝		
		仏滅	土	10	日	友引		
		大安	日	11	月	先負		
		赤口	月	12	火	仏滅		
		先勝	火	13	水	大安		
		友引	水	14	木	赤口		
		先負	木	15	金	先勝		
		仏滅	金	16	土	友引		
		大安	土	17	日	仏滅		
		赤口	日	18	月	大安		
		先勝	月	19	火	赤口		
		友引	火	20	水	先勝		
		先負	水	21	木	友引		
		仏滅	木	22	金	先負		
		大安	金	23	土	仏滅		
		赤口	土	24	日	大安		
		先勝	日	25	月	赤口		
		友引	月	26	火	先勝		
		大安	火	27	水	友引		
		赤口	水	28	木	先負		
		先勝	木	29	金	仏滅		
		友引	金	30	土	大安		
		先負	土	31	日	赤口		



水 稲

- 植付株数の確保
- 18～22株/㎡ (60～70株/坪) 前後を確保します。
 - 植付本数は少な目に3～5本/株が適当です。
 - ※ 欠株が多数出ても、収量・品質に大きな影響は出ません。
植付本数(かきとり量)を減らすことで使用する苗箱数を少なく抑え、省力化につとめましょう。
 - 田植えの前に田植え機の点検をしましょう。
 - 雑草の多い場合は草種に応じ薬剤を選び、早期早めの防除に努めましょう。



麦

- 立毛中で赤かび病の発生が認められる場合には、農業共済組合に連絡するとともに、収穫・調整は別仕分けを行う。
- 登熟期に曇天の多い時や多湿の時は、赤かび病の発生が疑われますので、2回目の薬剤散布をしましょう。
- ※ 使用時期、回数が薬剤により異なるので必ず注意事項を確認してから使用してください。
- 二条大麦は8割の穂首が曲がったとき(穀類水分25%以下)が刈り取り適期です。雨上がりや早朝などは、水分が高くなりますので刈り取りは避けてください。

夏秋ナス

- 夏秋ナス栽培のポイント
1. 地温確保と手灌水などで、活着や初期生育を促す
 2. 整枝・剪定・葉かき管理の適正化
 3. 果色、つや等の果実品質向上(イタミ果、ボケ果等の発生防止)
 4. 適正土壌水分の維持(灌水とマルチ)
 5. 病害虫防除の徹底(病害果の発生防止・優良台木品種の選定)
 6. 強風対策(防風ネット・障壁作業の導入)

アスパラガス

- (1年目の管理)
- 定植・・・排水対策や堆肥投入は事前に行い、元肥は窒素成分で10kg/10a。遅霜のない5月中旬に定植する。
採植方法は畝幅90cmの4条、株間30cm。芽の伸びる方向を揃え、麟芽部が地表下7～10cmに植える。
 - 灌水は定植前から、曇天日を除き毎日少量灌水する。気温は夜温15℃、日中25℃、35℃以上にはしない。
 - 茎葉が伸長すると倒伏するため、ネットを早急に設置。

冬春トマト

- うどんこ病・さびダニ予防・・・高温乾燥から近年発生増加。4月までの灰カビ予防に続き、徹底防除する。

たまねぎ

- 5月下旬以降に茎葉の80%以上倒伏した頃が収穫適期。
- 収穫は晴天日の午前中に行い、玉を傷つけないように掘り取り、ベットのの上に半日程度置いて乾かす。
- 葉鞘部を10～20cm残して切る。
- 収穫後は日除けたパイプハウスの地面にビニールを敷いて湿気を防ぎ、風通しの良いようコンパネや空コンテナで地面から上げ、積んだ下の玉の腐敗を防ぐため50cm以上の高積みしないように広げる。

令和7年(2025)			6月			令和8年(2026)		
		仏滅	日	1	月	先勝		
		大安	月	2	火	友引		
		赤口	火	3	水	先負		
		先勝	水	4	木	仏滅		
		友引	木	5	金	大安		
		先負	金	6	土	赤口		
		仏滅	土	7	日	先勝		
		大安	日	8	月	友引		
		赤口	月	9	火	先負		
		先勝	火	10	水	仏滅		
		友引	水	11	木	大安		
		先負	木	12	金	赤口		
		仏滅	金	13	土	先勝		
		大安	土	14	日	友引		
		赤口	日	15	月	大安		
		先勝	月	16	火	赤口		
		友引	火	17	水	先勝		
		先負	水	18	木	友引		
		仏滅	木	19	金	先負		
		大安	金	20	土	仏滅		
		赤口	土	21	日	大安		
		先勝	日	22	月	赤口		
		友引	月	23	火	先勝		
		先負	火	24	水	友引		
		赤口	水	25	木	先負		
		先勝	木	26	金	仏滅		
		友引	金	27	土	大安		
		先負	土	28	日	赤口		
		仏滅	日	29	月	先勝		
		大安	月	30	火	友引		



水 稲

生育中期は水管理を十分に留意しましょう。

- 水管理は、①移植直後はやや深水、②活着後に浅水、③茎数が確保できたら……間断灌水です。
- 深水管理は、出穂前25日以降（減数分裂期まで）の低温時や台風通過時にフェーンが吹きそうなとき行います。
- 発生育情報に基づいて、適正な病害虫防除を行います。

除草効果は、水管理によることが大きいので、適正な管理に留意する。除草剤を散布する直前は湛水深水を5cm位のやや深水とし、散布後1週間は絶対に灌水・落水・かけ流しをせず完全止水とする。

麦

小麦はほとんどの穂首が黄変して粒がろう状の硬さ（穀粒水分28%以下）が刈り取り適期です。

熟期はほ場ごとに判断し、生育むらのあるほ場は穀粒水分にバラツキがありますので、通常の刈り取り時期より1～3日遅らせてください。麦の成熟と天候に合わせて計画的に収穫しましょう。

★麦わらは焼却せずにすき込みましょう。

麦・稲わらの焼却は交通障害や地域住民の被害に対する苦情の要因にもなりますので、それらに配慮するためにも焼却は行わず、水田の地力維持のために有機物として水田に還元しましょう。



アスパラガス

（2年目以降の管理）

- 茎葉整理…立茎した親茎の下枝は60cmの高さまで欠き、通路の側枝は切り口が痛まないように多少摘み、株元への日射量を確保する。
- 摘芯・二次側枝管理…立茎後60日位で夏芽収穫が始まってから、主茎先端を140cm程度に順次止め、その後に発生する葉色の淡い2次側枝は出来るだけ取り除く。
- 病害虫防除…アザミウマは茎葉を紙の上で叩くと発生が確認でき、斑点病と併せて定期防除を実施する。
- 灌水・追肥…気温上昇に伴い昼間の灌水は水滴焼けする為、早朝と夜の地温低下を狙い夕方の2回灌水する。

令和7年(2025)			7月			令和8年(2026)		
		赤口	火	1	水	先負		
		先勝	水	2	木	仏滅		
		友引	木	3	金	大安		
		先負	金	4	土	赤口		
		仏滅	土	5	日	先勝		
		大安	日	6	月	友引		
		赤口	月	7	火	先負		
		先勝	火	8	水	仏滅		
		友引	水	9	木	大安		
		先負	木	10	金	赤口		
		仏滅	金	11	土	先勝		
		大安	土	12	日	友引		
		赤口	日	13	月	先負		
		先勝	月	14	火	赤口		
		友引	火	15	水	先勝		
		先負	水	16	木	友引		
		仏滅	木	17	金	先負		
		大安	金	18	土	仏滅		
		赤口	土	19	日	大安		
		先勝	日	20	月	海の日		
	海の日	友引	月	21	火	先勝		
		先負	火	22	水	友引		
		仏滅	水	23	木	先負		
		大安	木	24	金	仏滅		
		赤口	金	25	土	大安		
		先勝	土	26	日	赤口		
		友引	日	27	月	先勝		
		先負	月	28	火	友引		
		仏滅	火	29	水	先負		
		大安	水	30	木	仏滅		
		赤口	木	31	金	大安		

7月

水 稲

穂肥を施肥する時期は、お米づくりの重要なポイントの1つです。ほ場ごとに生育診断し、県やJAから出される情報などを参考に、適切な穂肥を行いましょう。

遅い追肥や多量の追肥は食味を大きく低下させるのではないこと。

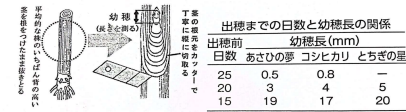
生育診断による適期穂肥

- ・「あさひの夢専用ひとふりくん222」「とちぎの星専用ひとふりくん」など
- ・一発基肥→穂肥はやらない
- ・一発基肥ではない場合（オール14など）

生育診断で出穂期の推測（7月下旬）→適期に穂肥《出穂前18～20日（あさひの夢）、出穂前15日（コシヒカリ）、（とちぎの星）》

穂肥：窒素成分2～3（あさひの夢）（とちぎの星）、1～1.5（コシヒカリ）kg/10a程度を施用

《NK202（窒素成分20%）なら10～15（あさひの夢）（とちぎの星）、5～7.5（コシヒカリ）kg/10a》



生育診断による出穂期の推測法

アスパラガス

（1年目の管理）

- 茎葉整理…茎葉伸長に伴い、ネットから垂れ下がる主枝は1株7本を目標に、細い茎から間引き整枝する。
- 病害虫…乾燥高温でアザミウマやオオタバコガが発生。換気が足りず茎葉が蒸れると斑点病、逆に雨水が掛かると茎枯病が心配されるので、予防防除に努める。

（1年目・2年目の管理）

- 追肥…9月上旬まで、20日毎にN成分3kg/10a実施。

冬春トマト

●黄化葉巻病予防…終了時にコナジラミを封じ込め防除。

畜 産

暑熱対策、子牛の下痢対策

1. 暑熱対策として、換気を十分に行い、扇風機、細霧装置の活用、屋根散水等を行います。
2. 水は生命の源、常に新鮮な水が飲めるよう水槽の清掃を行って下さい。
3. 暑い時期、子牛のお腹はデリケート、牛床は乾燥させ清潔に保って下さい。
4. 飼料のエネルギー濃度を高め、採食量を確保しましょう。

肉用牛・繁殖経営

子牛育成のポイント

1. 初乳は生後30分以内を目標に給与する。自分で哺乳できない場合は、哺乳ビンや胃チューブを利用して給与する。なお、初乳の入手早期給与ができない場合は、代用品（免疫グロブリンを含む初乳の代替品）を利用することも出来る。初乳を摂取できなかった子牛は、免疫グロブリンを獲得できないため病気に対する抵抗力が弱く良好な育成は望めません。
2. 分娩直後から新鮮な水と、生後2～3週目頃から人乳・良質粗飼料を不断給餌する。
3. 離乳時期は固形飼料（粗飼料を除く）の摂取量が概ね1kgを目安とします。
4. 育成後半は、濃厚飼料の食べ過ぎに注意し、良質粗飼料の給与に努めて下さい。
5. 生後4～5ヶ月齢に削蹄、去勢を実施しましょう。

肉用牛・和牛肥育

肥育牛の飼料給与

1. 導入後2～3ヶ月は、良質乾草を給与し、胃袋と骨格の充実を図るとともに血中ビタミン濃度を安定させます。
2. 導入後4～5ヶ月から肥育用飼料に切り替え、徐々に濃厚飼料の摂取量を増加させます。稲わらは不断給餌とし、ビタミン給与は控え、血中ビタミンAを低下させます。
3. 導入後12ヶ月（生後22ヶ月齢）ごろから、ビタミンA欠乏症が発症しやすくなるので、牛体観察に努め、食いつまり、関節の腫れ、浮腫、盲目などに注意して下さい。
4. 牛の状態を見ながら、ビタミン添加剤を添加し、エサの食いつまりが落ちない様務めましょう。
5. 症状が現れ改善しない場合は速やかに獣医師に連絡して下さい。

令和7年(2025)			8月			令和8年(2026)		
		先勝	金	1	土	赤口		
		友引	土	2	日	先勝		
		先負	日	3	月	友引		
		仏滅	月	4	火	先負		
		大安	火	5	水	仏滅		
		赤口	水	6	木	大安		
		先勝	木	7	金	赤口		
		友引	金	8	土	先勝		
		先負	土	9	日	友引		
		仏滅	日	10	月	先負		
	山の日	大安	月	11	火	山の日		
		赤口	火	12	水	大安		
		先勝	水	13	木	先勝		
		友引	木	14	金	友引		
		先負	金	15	土	先負		
		仏滅	土	16	日	仏滅		
		大安	日	17	月	大安		
		赤口	月	18	火	赤口		
		先勝	火	19	水	先勝		
		友引	水	20	木	友引		
		先負	木	21	金	先負		
		仏滅	金	22	土	仏滅		
		先勝	土	23	日	大安		
		友引	日	24	月	赤口		
		先負	月	25	火	先勝		
		仏滅	火	26	水	友引		
		大安	水	27	木	先負		
		赤口	木	28	金	仏滅		
		先勝	金	29	土	大安		
		友引	土	30	日	赤口		
		先負	日	31	月	先勝		



水 稲

- 生育後期の管理
- 水管理は、出穂後30日頃まで間断灌水を続けます。透排水性の悪い場所や未熟有機物の多い場所、鉄分の少ない所では夏期の高温により根腐れを起こしやすいので注意が必要です。
 - 稲こうじ病の防除は出穂期2〜3週間前が適期であり、いもち病・カメムシ類との同時防除はできません。時期を逃さず薬剤散布しましょう。
 - 稲いもち病、カメムシ類の防除を徹底します。
 - 異常高温時には気温の低い夜間の入水により、地温の低下、根の活力維持につとめましょう。
 - 早期落水は胴割米や乳白米等を増加させ、品質・食味を低下させます。落水時期は出穂後30日頃としましょう。
- 除草剤の使い方
- 発生する草の種類・量に応じて使用する除草剤を決めましょう。生産履歴記帳を確認して提出の準備をしておきます。

アスバラガス

- 病害虫防除…高温により蒸れた擬葉内部で9月に褐斑病や茎枯病、コナジラミ、ハダニが増加するため、徹底防除する。

生産履歴の記帳

- 米・麦・大豆など耕種部門と青果物等を組み合わせた複合経営では確実に毎日のこまめな記録メモ等をすることが大切です。提出用の栽培履歴に転記する場合には、正確に記入して押印の上で、JAに提出してください。

記帳のねらい

①安全の確保

②消費者への安全の提供

③農業技術・経営の見直しの参考資料

④無実の証明

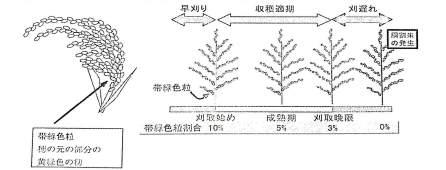
⑤現場からの情報発信

令和7年(2025)			9月			令和8年(2026)		
		仏滅	月	1	火	友引		
		大安	火	2	水	先負		
		赤口	水	3	木	仏滅		
		先勝	木	4	金	大安		
		友引	金	5	土	赤口		
		先負	土	6	日	先勝		
		仏滅	日	7	月	友引		
		大安	月	8	火	先負		
		赤口	火	9	水	仏滅		
		先勝	水	10	木	大安		
		友引	木	11	金	友引		
		先負	金	12	土	先負		
		仏滅	土	13	日	仏滅		
		大安	日	14	月	大安		
敬老の日		赤口	月	15	火	赤口		
		先勝	火	16	水	先勝		
		友引	水	17	木	友引		
		先負	木	18	金	先負		
		仏滅	金	19	土	仏滅		
		大安	土	20	日	大安		
		赤口	日	21	月	敬老の日		
		友引	月	22	火	国民の休日		
秋分の日		先負	火	23	水	秋分の日		
		仏滅	水	24	木	先負		
		大安	木	25	金	仏滅		
		赤口	金	26	土	大安		
		先勝	土	27	日	赤口		
		友引	日	28	月	先勝		
		先負	月	29	火	友引		
		仏滅	火	30	水	先負		



水 稲

- 収穫・乾燥・調整
せっかくおいしい米作りを行っても、収穫・乾燥・調整がうまくいかないと品質が落ちてしまいます。十分に注意して行いましょう。
- 品質・食味向上のため、適期収穫につとめます。収穫は帯緑色稲率10%(籾の90%が黄化した時)からはじめましょう。
(刈取適期) 帯緑色稲率: 10~3%
登熟積算気温: 1,000~1,100℃
積算気温は目安とし、帯緑色稲率で判断します。
 - 刈り遅れると胴割れ等の発生が多くなり、品質が低下します。
- 【刈取適期の判定方法】
- 平均的な生育箇所のか所かで5~6本の穂をまとめて握ってみます。
 - 穂の元の部分の帯緑色粒の割合で判断します。



- 高温、急激な乾燥を行わないようにします。1時間当たり0.8%の乾燥率を目標とします。
- 出荷時の玄米水分を14.5~15.0%を目標とします。(水分14%以下の過乾燥米にはしないように注意しましょう。栃木県は、過乾燥米が3割近くあり、味を落とす大きな原因となっています。)
- ライスグレーダー網目1.85mmを使用します。

キュウリ

- ハウスキュウリ栽培のポイント
1. 土壌診断に基づく適性施肥と良質堆肥の施用。
 2. 収穫開始までの灌水は朝に1日分の適性量を実施。
 3. 高温乾燥の場合は遮光カーテンを利用し、通路等を濡らし加湿する。大きく萎れる場合は、葉水する。
 4. 側枝や雌花の掻き上げは地上30cm以上実施する。
 5. 側枝の適性数は10~12本、早めに1節摘芯が基本。
 6. 追肥は収穫物の果形が良くなってから開始する。
 7. ハウス開口部や出入口に防虫ネットを導入して、黄化えそ病や退緑黄化病、ウイルス感染株は処分する。

アスパラガス

- (1年目・2年目以降の管理)
- 転流促進...根株への養分転流を促すため、9月末以降3回程度、亜硝酸葉面散布剤を散布して葉黄化を促す。さらに、1月まで7日毎に灌水は継続し、同様に促す。

いちご

- 定植後の管理のポイント
適期作業を行うため、作業は計画的に進めましょう。
1. 適期定植
花芽検鏡の結果に基づき適期に定植しましょう。定植が遅れると株の充実が悪く、着花数の減少、生育の遅れを招き、収量が低下します。
 2. 活着促進と生育初期の株づくり
定植後は1日数回こまめな灌水を行って活着を促進します。活着後から開花期までは土壌水分の安定供給と適正な温度管理によって株を充実させ、収穫始期の草丈20~25cmを目標にします。
 3. 開花期までの病虫害防除の徹底
(1) 病虫害は、ミツバチを導入すると防除がしにくいので、開花期までに防除を徹底します。病害に予防中心の防除、害虫は早期発見・早期防除を心がけます。
(2) 天敵を利用する場合は、放飼3週間前からの防除を徹底をしましょう。

冬春トマト

1. 定植
1~3花咲きに合わせ、坪当たり7本前後で定植。
2回程度の植え水で活着させ、急な夜温低下に注意。
2. 病虫害防除
黄化葉巻病予防に0.4mm以下の防虫ネットを導入し、強風時には換気を控え、週2回の薬剤防除に努める。
疫病、かいよう病、茎えそ細菌病、灰色かび病は過繁茂による多湿が影響することから、初期の草勢管理と銅剤を中心とした予防防除に努め、早期発見で感染拡大を防ぐ。

たまねぎ

- は種時期目安(セル育苗)9/13頃、(地床育苗)9/16頃
- 平均気温が15℃になる時期の40日前を目安とする。
- 育苗日数50~55日で定植できるよう、逆算して播種日を決定する。
- 発芽後に苗立枯病防除のため、登録のある薬剤を散布する。

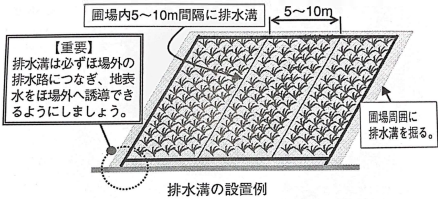
令和7年(2025)			10月			令和8年(2026)		
		大安	水	1	木	仏滅		
		赤口	木	2	金	大安		
		先勝	金	3	土	赤口		
		友引	土	4	日	先勝		
		先負	日	5	月	友引		
		仏滅	月	6	火	先負		
		大安	火	7	水	仏滅		
		赤口	水	8	木	大安		
		先勝	木	9	金	赤口		
		友引	金	10	土	先勝		
		先負	土	11	日	先負		
		仏滅	日	12	月	スポーツの日		
	スポーツの日	大安	月	13	火	大安		
		赤口	火	14	水	赤口		
		先勝	水	15	木	先勝		
		友引	木	16	金	友引		
		先負	金	17	土	先負		
		仏滅	土	18	日	仏滅		
		大安	日	19	月	大安		
		赤口	月	20	火	赤口		
		先負	火	21	水	先勝		
		仏滅	水	22	木	友引		
		大安	木	23	金	先負		
		赤口	金	24	土	仏滅		
		先勝	土	25	日	大安		
		友引	日	26	月	赤口		
		先負	月	27	火	先勝		
		仏滅	火	28	水	友引		
		大安	水	29	木	先負		
		赤口	木	30	金	仏滅		
		先勝	金	31	土	大安		

10月

麦

- 1) 二条大麦
- ニューサチホゴールデン
早生種、稈長はやや短く、穂長は中庸、穂数はやや少ない。芒が長いことが特徴。環境条件によってはアントシアニンが強く出る。粒は大きく、低刺毛茸は長、腹溝幅は中。大麦縮萎縮病Ⅰ～Ⅲ型ウイルス、うどんこ病に抵抗性である。側面裂皮粒。剥皮粒が発生しやすい。品種特性・栽培特性はサチホゴールデンとほぼ同じだが、鮮度が長持ちするビールを作れるようになる。
 - もち絹香
出穂期・成熟期はニューサチホゴールデンと同程度の早生。稈長はニューサチホゴールデンより短く倒伏しにくい。多収性品種であり、施肥量も多く必要。穂発芽しやすいため、収穫時期はやや早い。
 - 2) 小麦
 - さとのそら
やや早生。稈長はやや短く、穂長は中庸、穂数はやや多い。秋播性程度が高く、茎立期が遅いので凍霜害を回避しやすい。ふ色は褐ぶ。粒はやや大きく、中庸で、粒の色は赤褐色。小麦縮萎縮病およびうどんこ病には強い。赤かび病抵抗性は同程度。穂発芽抵抗性は高い。品質は製粉歩留が高い。通常アミロース含量。

適期播種
遅まきは、細麦・被害粒が懸念されます。
◆は種基準は11月中旬からです。
◆は種量はドリル播きで8～8.5kg/10a。薄まきが有効です。
湿害対策について
圃場に水分が多いと「発芽不良・生育不良」を起こし、品質の悪化や減収になってしまいます。播種前の排水溝の設置や、弾丸暗渠またはサブソイラ・プラソイラ等による心土破砕を実施し排水に努め、生育に良い環境を作りましょう。



土づくり
麦類は酸性に弱い作物です。播種前にPH6.0～6.5を目標に苦土炭カルや苦土消石灰・OM37（苦土重燃リン・苦土炭カル）を施用しましょう。

令和7年(2025)			11月			令和8年(2026)		
		友引	土	1	日		赤口	
		先負	日	2	月		先勝	
	文化の日	仏滅	月	3	火	文化の日	友引	
	大安		火	4	水		先負	
	赤口		水	5	木		仏滅	
	先勝		木	6	金		大安	
	友引		金	7	土		赤口	
	先負		土	8	日		先勝	
	仏滅		日	9	月		仏滅	
	大安		月	10	火		大安	
	赤口		火	11	水		赤口	
	先勝		水	12	木		先勝	
	友引		木	13	金		友引	
	先負		金	14	土		先負	
	仏滅		土	15	日		仏滅	
	大安		日	16	月		大安	
	赤口		月	17	火		赤口	
	先勝		火	18	水		先勝	
	友引		水	19	木		友引	
	仏滅		木	20	金		先負	
	大安		金	21	土		仏滅	
	赤口		土	22	日		大安	
	勤労感謝の日	先勝	日	23	月	勤労感謝の日	赤口	
	振替休日	友引	月	24	火		先勝	
	先負		火	25	水		友引	
	仏滅		水	26	木		先負	
	大安		木	27	金		仏滅	
	赤口		金	28	土		大安	
	先勝		土	29	日		赤口	
	友引		日	30	月		先勝	



畜産

- 稲わら収穫の時期です。
- 有機質施用のため、堆肥散布が有効です。
- 風邪注意報
- 牛舎内の換気と敷き料の交換を早めに行い牛舎内を清潔に。
- 食欲や糞の状態をよく観察し、早期発見につとめます。
- せき、鼻汁が見えたら、獣医師に相談し早期治療を。
- 堆肥の有効利用と国産稲わら確保推進
- 良質堆肥づくり：堆肥舎で定期的に切り返しを行い、発酵を促進させます。
- 稲わら交換：良質堆肥の還元によるほ場の土づくりと、稲わら確保を図ります。
- 稲わら収穫：雨に当たらないよう早めの収集を心がける。

酪農

- 乳房炎予防のための搾乳手順
1. 前搾りを各乳頭4～5回行い、乳汁をストリップカップにとります。乳汁は乳房炎起因菌の汚染を防ぐため牛床に捨てない様にします。
(フレディッピングを行う場合は、前搾り後に行う。)
 2. 消毒液に浸したタオル(1頭につき1枚)で乳頭のみを清拭し、その後使い捨てペーパータオルで拭き取り、乳頭を乾燥させます。
 3. 乳頭清拭後、時間をおかないでティートカップを装着します。
 4. 搾乳終了時のマシINSTリップピングは乳頭口、乳頭管を傷つけるので絶対行わないで下さい。
 5. ティートカップ離脱後速やかにディッピングして下さい。
 6. 搾乳後30分は乳牛が黄臥しないよう心がけて下さい。
(飼料を給与するなど。)

麦

- 麦踏みは不可欠(年内1回以上、茎立ち期を前に2回以上)
- ◆暖冬による茎立ちを抑え、また低温による幼穂凍死を回避し、穂揃いを良くし倒伏しにくい麦をつくらします。
 - ◆手を抜かず必ず適期に麦踏みをししましょう。
 - ◆排水対策として、排水溝を必ずつくり、ほ場外までつなぎます。必要に応じて溝さらいをししましょう。
- 雑草防除
- ◆播種後に全面土壌処理を行い、その後の雑草発生状況により生育期処理を行う。
 - ◆麦の生育不良や品質の低下を防ぐため、必ず雑草防除を行います。

水稻・麦の種子更新

- 種子更新率の向上を
- 信頼される米・麦づくりの基本は毎年の種子更新が決め手です。
 - 自家採取種は「自然混雑」や「突然変異」等により品種の『純度』が低下し、DNA鑑定で異品種混入と見られ販売が難しくなる場合があります。
 - 精米表示の適正化から、種子更新率100%が産地に求められています。
- 雑草イネに注意
- 雑草イネの特徴
 - ①ノゲが長かったり、着色している。
 - ②脱粒しやすい。
 - ③籾や玄米が着色する。(褐色・赤～ピンク)
- 雑草イネは、自家採種した種子で栽培した圃場で見つかっています。もし発見したら、株ごと抜き取ってください。
- また、必ず、購入種子を使ってください。

アスパラガス

- (定植前の準備)
- 排水対策…暗渠や明渠、水中ポンプを設置し、ハウス建て場所周りの土壌を客土して作土40cmを確保する。
 - 土づくりにモミ殻牛糞堆肥を30t～50t/10a全層施用し、土壌診断でpH等確認し、苦土炭カル等で改良しておく。

たまねぎ

- 定植時期の目安

	早生種	中生種	晩生種
セル育苗	11/2 頃	11/4 頃	11/7 頃
地床育苗	11/9 頃	11/11 頃	11/14 頃

いちご

- 「とちあい」の収穫期対策
- ①「とちあい」は着色が早いので過熟にならないように短い間隔で収穫する。
 - ②果実硬度は昼温管理の影響が大きく、高温管理で低下しやすいので、開花期以降は25℃を目標に管理する。
 - ③11月及び3月以降の暖候期に傷み果が発生しやすい。特に日射量の増加する3月以降では果実温度が急激に上昇しやすいので、できるだけ早い時間帯に収穫作業を終えるようにする。
 - ④速やかに予冷を行って果実温度が十分に下がってからパック詰めを行う。調整後も出荷まで予冷庫に入れて品質保持に努める。
- 温度管理
- 品質と収量の両面から、昼温は25℃、夜温は8℃を目標に管理します。特に11月までは日中の高温管理に注意し、厳寒期は夜温の確保に努めましょう。

令和7年(2025)			12月			令和8年(2026)		
		先負	月	1	火	友引		
		仏滅	火	2	水	先負		
		大安	水	3	木	仏滅		
		赤口	木	4	金	大安		
		先勝	金	5	土	赤口		
		友引	土	6	日	先勝		
		先負	日	7	月	友引		
		仏滅	月	8	火	先負		
		大安	火	9	水	大安		
		赤口	水	10	木	赤口		
		先勝	木	11	金	先勝		
		友引	金	12	土	友引		
		先負	土	13	日	先負		
		仏滅	日	14	月	仏滅		
		大安	月	15	火	大安		
		赤口	火	16	水	赤口		
		先勝	水	17	木	先勝		
		友引	木	18	金	友引		
		先負	金	19	土	先負		
		大安	土	20	日	仏滅		
		赤口	日	21	月	大安		
		先勝	月	22	火	赤口		
		友引	火	23	水	先勝		
		先負	水	24	木	友引		
		仏滅	木	25	金	先負		
		大安	金	26	土	仏滅		
		赤口	土	27	日	大安		
		先勝	日	28	月	赤口		
		友引	月	29	火	先勝		
		先負	火	30	水	友引		
		仏滅	水	31	木	先負		



年間振り返り

- 1年間を通して、課題、反省点および良かった点をまとめ、整理しておきます。
- 次年度に向けた対策を検討します。
- 決算（青色申告）に向けて関係書類を整理し、決算準備をしておきましょう。

農機具

- 農機具の安全使用と寿命延長のため、日頃から整備、点検を行いましょう。整備していない農機具は故障や事故の原因です。



アスパラガス

- （1年目・2年目以降の管理）
- 刈取り・焼却・・・親茎が指で押して潰れる程度に、安全に枯れる12月下旬～1月に地上部を刈取り、圃場外に茎葉を持ち出し、株基やベットをバーナーで焼却、病害越冬を防止する。
 - 施肥等・・・畝を崩して堆肥を通路に5～10t/10aや冬肥をN成分で10～15kg/10a投入、茎枯病防除した後、管理機でベットに戻し、再度バーナーで焼却消毒する。

いちご

- 厳寒期の草勢維持
厳寒期の草勢維持のため、電照、炭酸ガスを有効に活用しましょう。電照の開始時期は早出し夜冷育苗で11月下旬、その後の作型では12月上旬を目安にし、生育をみながら時間を調整します。炭酸ガスは11月中下旬に施用を始め、CO₂濃度が400ppm程度になるよう生育をみながら施用する。

春大根

- 厳寒期の播種なので極晩抽性のものを選択する。
- 生育に障害の無いよう30cm程度深耕を実施する。
- 1穴3～4粒播きにし、12～2月播きは2重トンネルやバオバオ等べたがけ資材を利用する。
低水分でも発芽しやすいが、極端な水分条件はさける。

春人参

- 乾湿の差が少なく適度な水分を持つ通気性の良い圃場を選ぶ。また、土中に酸素が十分にあると着色が良くなることから深耕しておくことも重要である。あまり酸性が強いと生育不良や病害を招きやすいので、石灰等を使用してpH6.0程度に調整する。
- 発芽適温は15～25℃、生育適温は18℃～21℃であるので本葉3～4枚までは25℃を目安に密閉しておく。本葉5～6枚から20～25℃を目安に管理するので換気を始めるが、急激に温度変化をしないよう徐々に換気を行い、すそ換気の箇所を多くしていく。本葉7枚以降は根部肥大着色の最盛期に入ることから18～21℃程度に管理する。

冬春トマト

- （細やかな栽培管理法）
- 草勢安定・・・誘引、腋芽除去、摘果、マルチ敷き
 - 灰色かび病予防・・・花びら除去、下葉かき、循環扇
 - 玉伸び促進・・・摘花、玉出し、トップリーフ摘葉、CO₂施用